

関西健康・医療創生会議シンポジウムの開催について

平成 28 年 4 月 28 日
イノベーション推進担当

- 1 趣 旨 健康・医療分野を抜本的に革新する重要技術である「人工知能」をテーマとして、企業の経営者や研究者をはじめ、アカデミア、行政関係者の参加も得て、その現状や具体的な応用に関するシンポジウムを開催する。
- 2 日 時 2016 年 5 月 31 日 (火) 13:30～17:30
- 3 場 所 国立京都国際会館 (ANNEX)
- 4 主 催 関西健康・医療創生会議、NPO 法人関西健康・医療学術連絡会
- 5 テーマ 医療と健康に貢献する人工知能
- 6 プログラム

【挨拶】(13:30-13:50)

井村裕夫 関西健康・医療創生会議議長(NPO 法人関西健康・医療学術連絡会理事長)
関西広域連合(京都府(譚中))、服部重彦 京都商工会議所副会頭

【基調講演】(13:50-14:30)

国立研究開発法人日本医療研究開発機構 理事長 末松 誠 氏
「AMED のミッション : Balkanization の克服による研究開発の推進」

【特別講演】(14:30-15:00)

国立研究開発法人産業技術総合研究所人工知能センター 副センター長 本村 陽一 氏
「次世代人工知能技術研究と生活分野への応用～AI for Human Life～」

【講演】(15:10-17:30) ※いずれも仮題

- (株)国際電気通信基礎技術研究所 脳情報通信総合研究所 脳情報研究所
ブレインロボットインターフェース研究室室長 森本 淳 氏
「健康・医療と人工知能に関する ATR の取り組み」
- 京都大学大学院医学研究科附属ゲノムセンター教授 松田 文彦 氏
「ゲノムコホートとバイオインフォマティクス」
- 塩野義製薬株式会社 シニアフェロー 坂田 恒昭 氏
「医療ビッグデータに対する製薬産業からの期待」
- 京都大学大学院医学研究科教授 奥野 恭史 氏
「Precision Medicine を目指した医療ビッグデータ解析とシミュレーション創薬」
- 日本電信電話株式会社 研究企画部門プロデューサー担当 担当部長
医療健康 ICT チーフプロデューサー 是川 幸士 氏
「医療・健康×ICT」
- 富士フイルム株式会社 画像技術センター研究主幹 伊藤 渡 氏
「AI 技術による 3D 画像解析—診断及び治療支援—」

7 参加費 無料

※シンポジウム終了後、名刺交換会(17:40～19:00 会費 3000 円)を行います。

《お問い合わせ先》 関西広域連合本部事務局イノベーション推進担当
TEL 078-362-3335